

業務用米向け多収性品種の目標収量達成に向けて
適期中干し開始で目標穂数を確保！

ここがポイント！！

- 1 茎数を確認し、適期中干し開始（早過ぎない）
- 2 茎数不足でも、下記までに中干しを開始する
 早生品種：6月15日 晩生品種：6月末
- 3 出穂期1ヶ月前には中干しを終了し、間断かん水に移る

1 品種ごとの中干し開始時の茎数

品種名	熟期	中干し開始時の茎数			目標穂数 (本/㎡)
		(本/㎡)	60株植え (本/株)	70株植え (本/株)	
ゆきん子舞	早生	350	19	16	420~460
つきあかり	早生	350	19	16	350
あきだわら	晩生	270	15	13	330~350
(参考) コシヒカリ	中生	280	15	-	350

※穂数が確保しやすい「ゆきん子舞」、「あきだわら」は目標穂数の8割、穂数が確保しにくい「つきあかり」は目標穂数の茎数が確保された時点で中干しを開始する。

2 留意事項

- ・ 中干し開始が早過ぎると、穂数不足で目標収量の確保が困難になるため、茎数を確認して適期中干しを開始する。
- ・ 上記中干し開始時の**茎数が確保されていない場合でも**、根の健全化を目的に**早生品種は6月15日、晩生品種は6月末までに、中干しを開始する。**
- ・ 中干し効果の発揮、生育後期の水管理のため、**溝切りは必ず行う。**
- ・ 中干しは田面に小ヒビが入る程度とし、出穂期1ヶ月前までに終了する。